

**【放課後等デイサービス】  
事業所における自己評価結果（公表）**

公表：令和2年2月25日

事業所名 エルベテーク 大阪本部教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に則った指導訓練室等のスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令に則った職員配置をおこなっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		安全面に配慮し、利用しやすい環境整備に努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		業務改善ミーティングの時間を確保し、より良い支援体制構築のため、業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の方々へアンケートを実施し、業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価結果と保護者向けアンケート集計結果はホームページ上で公表し、周知しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後必要に応じ、検討してまいります。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修は随時実施しておりますが、職員の指導スキル向上をこれからも追求してまいります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを保護者の方からのヒアリングを実施し、個別支援計画に反映させています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		より効果的な支援をしていけるよう、プログラムの立案をチームでおこなっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの発達状況に応じ、独自プリントも取り入れた学習をおこなうことで、支援内容が固定化しないようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		家庭や学校での生活状況、学習状況を把握した上で、支援内容を策定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの発達状況に応じ、集団での学習活動も取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日ミーティングは必ずおこない、職員間で情報共有をおこなうことで、より効果的な支援体制の構築を図っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		管理者が職員間での情報共有のための軸となるべく、積極的に職員とのミーティングをおこなっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録レポートを作成し、保護者の方とのじょゆ法共有に努めると共に、支援の検証・改善のツールとして活用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個人別にモニタリング期間を設定し、支援計画を見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		自主性、自立性を養うことを念頭にいた支援計画を作成し支援をおこなうとともに、季節感を感じられるようなオーナメントの設置をすることで、感性の醸成にも努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には、担当の指導員が原則参加するようにしております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		○	可能な範囲で連携をとるべくモニタリング時等に情報の共有に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	対象になる子どもの利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	保育所等を利用されている場合は、可能な範囲で連携をとるべくモニタリング時等に情報の共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	対象になる子どもの利用はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今後も引き続き、可能な範囲で研修等に参加し、指導スキルの向上に努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	保護者の要望もヒアリングしながら、必要であれば支援計画に盛り込んだうえで、交流機会を持つことも検討します。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○	保護者の要望もヒアリングしながら、必要であれば支援計画に盛り込んだうえで、交流機会を持つことも検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		レポートの利用と入退室時の情報交換の中で、家庭での様子、事業所内での様子の共有をおこなっています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		入退室時の保護者との情報交換の中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。また、発達状況に応じて、ペアレント・トレーニングを保護者に案内しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		これからもより一層明確なご説明ができるよう図ってまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		入退室の際の情報共有以外にも、お申し出があれば保護者の方との面談を随時実施しておりますので、お気軽にお申し出ください。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者懇談会の開催は今後も定期的にも実施していきますので、是非参加いただければと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情の受付体制の明示化、迅速な対応をより一層推進してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		事例等を掲載した季刊誌を隔月で発行し、保護者間の事例共有、情報共有に努めており、HP、SNS等でも情報を随時発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報は鍵付書庫への保管を徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じ、合理的配慮を引き続き行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	保護者の方々の要望をふまえて検討してまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルの策定はしておりますが、避難訓練の実施は今後定期的におこなっていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	避難訓練は今後定期的の実施してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員研修の機会を設けております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		本人の安全確保のため、やむを得ず身体拘束をおこなう際の条件は、契約時にご説明しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			おやつも含めた食事の提供は行っておりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員間のミーティングで共有しております。